



# 数学の世界

## のぞいてみよう!

執筆・編集：佐藤 太郎

# コンパスと定規で描ける図形の世界

……ユークリッド幾何の世界……

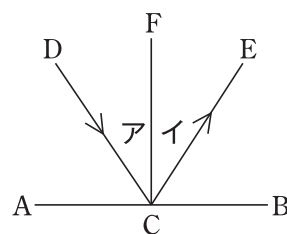
第66回

## 反射する光の軌跡を作図しよう

今回は、反射する光の軌跡を作図します。

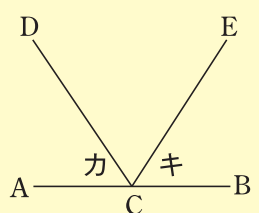
### 光の反射について

光の反射について確認しておきます。右の図の直線AB上の点Cで、点DからCに進んできた光が反射しEの方向へ進んだとします。このとき、ABと垂直な線CFに対し、光の進む方向DCとCFのなす角アと光の進む方向CEとCFのなす角イが等しくなります。この角アを入射角といい、角イを反射角といいます。



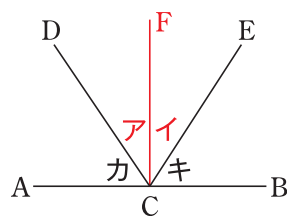
#### 問題 1

右の図において、角カ=角キのとき、点DからCに進んできた光が直線ABで反射すると点Eの方向へ進むことを証明してみましょう。



**考え方** 反射する光の軌跡において、入射角と反射角は……。

**証明** 右の図のように、点FをABとCFが垂直…①になるようにとり、角ア、イをおきます。仮定より角カ=角キ…②です。①より、角ア=90度-角カ…③、角イ=90度-角キ…④なので、②③④より、角ア=角イです。



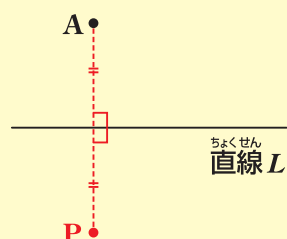
したがって、入射角アと反射角イが等しいので、点Dから点Cに進む光が直線AB上の点Cで反射すると、点Cから点Eに進んでいくとわかりました。

### 直線に対して対称な点の作図

次に、チャレンジ問題のヒントになる問題を考えておきましょう。

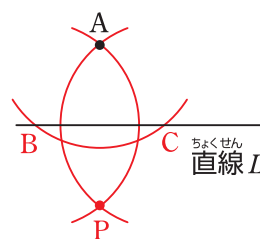
#### 問題 2

直線Lとその直線上にない点Aが与えられています。直線Lに対して点Aと対称な点Pをコンパスと定規を用いて描き、その描き方で正しく図が描けていることを証明してみましょう。

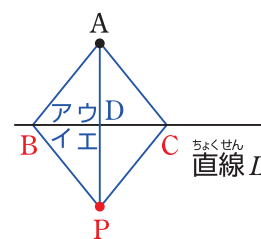


**考え方** ぴったり重なる三角形を利用しましょう。

**描き方** 点Aを中心とし直線Lと2点で交わるように円Aを描き2つの交点をB、Cとします。Bを中心とし半径ABの円BとCを中心とし半径ACの円Cを描き、円Bと円Cの交点のうちAではない方をPとすると、Pが求める点になっています。



**証明** APとBCの交点をDとし、図のように角をアからエまでおきます。図の描き方から、AB=AC=BP=CP…①です。「三辺が互いに等しい三角形はぴったり重なる」ことから、①とBCが共通なことから、△ABCと△PBCはぴったり重なります。よって、角ア=角イ…②です。すると、「二辺とその間の角が互いに等しい三角形はぴったり重なる」ことから、AB=PB (①より) と②とBDが共通なことから、△ABDと△PBDはぴったり重なります。よって、角ウ=角エ…③、AD=PD…④です。③④より点Aと点Pが直線Lに対して対称とわかり、図の描き方が正しいことがわかりました。

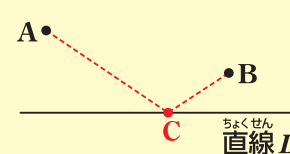


### 反射する光の軌跡を作図しよう

それでは今回のチャレンジ問題です。がんばって考えてみてくださいね。

#### チャレンジ問題

直線Lに対し同じ側で直線上にない2点A、Bが与えられています。Aを出発点として進んでいく光が直線L上の点Cで1回反射して点Bにぶつかるような光の軌跡を作図したいと思います。点Cをコンパスと定規を用いて描き、その描き方で正しく図が描けていることを証明してみましょう。



#### 考え方

問題 2 をヒントに考えてみましょう。

### 証明のための根本原理と図を描くときの注意

コンパスの使い方や三角形がどんなときにぴったり重なるかなど、図を描いたり証明したりするときには根本原理をまとめておきます。はじめてこの記事を読む人は参考にしてください。

#### (根本原理)

- 定規で、2点を通る直線が引ける。コンパスで、与えられた点を中心とし、与えられた半径の円が描ける。
- 三辺が互いに等しい三角形はぴったり重なる。
- 二辺とその間の角が互いに等しい三角形はぴったり重なる。
- 一辺とその両端の角が互いに等しい三角形はぴったり重なる。
- 斜辺と他の一辺が互いに等しい直角三角形はぴったり重なる。
- 二等辺三角形の底角は等しい。逆に、二角が等しければ二等辺三角形である。
- 3点A、B、Cがこの順番で一直線上にあるならば、BAとBCのなす角は180度であり、逆に、BAとBCのなす角が180度ならば、3点A、B、Cがこの順番で一直線上にある。
- 対頂角は等しい (図1)。
- 2直線において、錯角の位置の角が等しければ、その2直線は平行である。逆に、2直線が平行であれば、その2直線に対する錯角の位置の角は等しい (図2)。
- 三角形の内角の和は180度、四角形の内角の和は360度である。
- ある円の円周上の点を通る直線は、その点と中心を結ぶ半径と垂直であるならば接線であり、逆に、ある円の円周上の点を通る接線は、その点と中心を結ぶ半径と垂直である。(図3)。
- 平行四辺形の向かい合う辺は等しい。
- 3本の平行線が平行線と交わる直線から切り取る2本の線分の長さの比は常に等しい。
- 二辺の比とその間の角が互いに等しい三角形は相似である。
- 二角が互いに等しい三角形は相似である。
- 三辺の比が互いに等しい三角形は相似である。
- ある弧に対する円周角は、その弧に対する中心角の半分である。

図1 対頂角

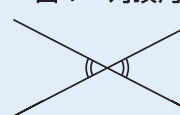


図2 錯角

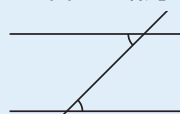


図3 円の接線



#### (図を描くときの注意)

- 定規は目盛がないものとします。直線を引くこと以外には使えません。

チャレンジ問題の解答は、4面をご覧ください。